

みんなげんき

令和4年12月9日

新型コロナ感染症・インフルエンザを予防するために…

あさばん ひ 朝晩冷えこみ、さむ ひ ふ 寒い日が増えてきました。新型コロナウイルス感染症

だけでなく、インフルエンザにも注意が必要な季節になってきました。

新型コロナウイルス感染症は、またもや流行の波（第8波）が来て、全国的にも感染する人が増えています。



さらに今シーズンは、インフルエンザも同時に流行するかもしれないとも言われています。どちらもウイルスによってうつる感染症です。ウイルスを体の中に入れないようにするためにはどうすればよいか、自分たちの身を守るために、これまで取り組んできた感染症予防対策をもう一度みなおしてみましょう。

クイズでみなおそう！

感染症予防対策

新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症は、どういう経路（道すじ）で人から人へうつるのでしょうか？

次の中からえらびましょう。1つとはかぎりません。

①

ドアノブや手すりなど、ウイルスがついた場所をさわった手で、口や鼻をさわる。



②

せきやくしゃみでとびちったしぶき（ひまつ）をすいこむ。



③

空気中をただよう小さなつぶ（ひまつかく核）をすいこむ。



ウイルスは、さまざまな経路（道すじ）で、わたしたちの口や鼻からのど（気道の粘膜）に入りこんで、体の中に入ります。 <こたえ：①②③全部>

参考：東山書房 健康教室

かくにんしよう！ 感染予防のために大切なこと

[]にあてはまる言葉を下のキーワードからえらんで、感染予防に大切なことを確認しよう！

① の経路（道すじ）で、ウイルスを体に入れないために

一人ひとりがこまめに [] で [] をすること。 [] をしっかりあらいましょう！ あらった後に [] で、しっかりふくこともポイントです。



② の経路（道すじ）で、ウイルスを体に入れないために

ウイルスは、くしゃみやせきをしたときに、 [] と いっしょに体の外にとび出します。 [] で鼻からあごまで おおって、ウイルスがとびちるのをふせぎます。



③ の経路（道すじ）で、ウイルスを体に入れないために

しめきった部屋の [] は、どんどんよごれていきます。とくに、暖房で [] した部屋の中では、ウイルスがさかんに活動します。ウイルスを外に出し、部屋の空気をきれいにするために、窓や戸を開けて [] することが大切です。



キーワード

[ゆび・手のひら・手のこう・手くび] [しぶき（ひまつ）] [手あらい]
[空気] [マスク] [せっけん] [かんき] [ハンカチ] [かんそう]

こたえ：うらめん



【穴うめこたえ】

① の経路(道すじ)で、ウイルスを 体 に入れないために

一人ひとりがこまめに「せっけん」で「手あい」をすること。
「ゆび・手のひら・手のこう・手くび」をしっかりと洗いましょう！
あらった後に「ハンカチ」で、しっかりふくこともポイントです。

② の経路(道すじ)で、ウイルスを 体 に入れないために

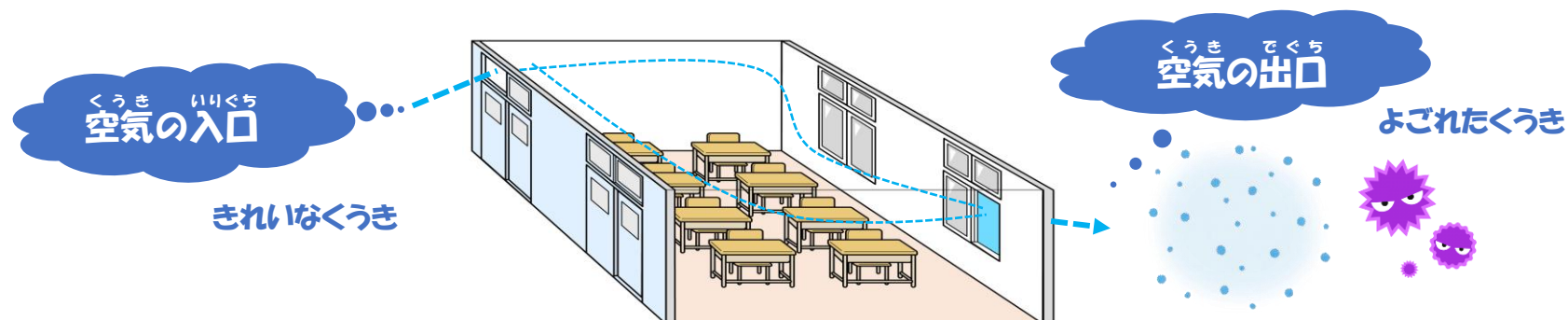
ウイルスは、くしゃみやせきをしたときに、「しびき(ひまつ)」
といっしょに 体 の外にとび出します。「マスク」で鼻からあご
までおおって、ウイルスがとびちるのをふせぎます。

③ の経路(道すじ)で、ウイルスを 体 に入れないために

しめきった部屋の「空気」は、どんどんよごれていきます。
とくに、暖房で「かんそう」した部屋の中では、ウイルスがさかん
に活動します。ウイルスを外に出し、部屋の空気をきれいにするため
に、窓や戸を開けて「かんき」することが大切です。

* ウイルスを外に出す『かんき』も大切です！

寒くなり教室ではストーブを使う日も多くなりました。寒いのでつい窓や戸を閉めがちですが、よごれた空気とウイルスを
外におい出し、きれいな空気を室内に入れるために、「かんき」をして、空気の出入り口をつくりましょう。



休み時間には、大きく窓をあけ、
空気を入れかえます！